



## Vol.1 「すみません」の使い方

今回からは、韓国から日本に来ている河(い)さんのお話をお届けします。

日本で暮らしてみて、どんなところが大変ですか？

やはり、電車の利用は、慣れるまで大変でしたね。  
たくさん電車があるので、乗り換えには本当に苦労しました。



暮らしてみて、どんなところが「いいな」と思いますか？

細かく上げるとキリがないのですが、やはり一番「いいな」と思うのは安定した物価です。

日本で生活をしてから、『韓国は物価が高いな』と痛感しました。  
韓国では、物価があまり安定していないので、日本がとてもうらやましいです。

では、『これは違うな』と思ったこと、驚いたこと、戸惑ったことがあれば教えてください。

基本的に『韓国と日本は似ているな』と思うのですが、日本の「友人関係」については、“建て前”が多いと思いました。

それと、何でも「すみません」という習慣ですかね。言うこと自体が悪いとは思わないのですが、口癖のように言っている人が多いので、“本当に悪いと思ってるのかな？”という疑問を持つことがあります。

日本での食事はどうですか。

韓国にはそこまでネバネバしているものがないので、日本に来てとろろや納豆など、ネバネバしている食べ物が出てきた時は戸惑いました。

今でも納豆が苦手ですが、あとの日本食はほとんど食べられますし、特に刺身が好きなので、寿司がお気に入りです。

また、たまに自分で韓国料理の「キムチチゲ」や「スンドゥブチゲ」を作って食べるのですが、日本食に慣れてしまった今は、辛いものが苦手になってしまい、ちょっと残念です(笑)



日本の街並みや文化財、自然についてどう思われましたか。

お寺や神社を見たときは、びっくりするくらい保存されているので、うらやましいと思いました。どれも本当に素晴らしいと思います。

また、時間があるときに近所を散歩するのですが、町中にある公園が綺麗に整備されているので、歩いていても気持ちが良いですね。

次に、『家族』について教えてください。  
お母さんやお父さんはどういった存在ですか。

母が「海」ならば、父は「空」というくらい、どちらも私にとって大きな存在です。



その他 女性と男性についての文化があったら教えてください。

女性は、男性が守るべき存在であると思います。ただ、それは男性が一方向的に押し付ける形ではなく、並行にお互い頼り合っていく関係だと思えますね。

今回の河さん同様、過去にご紹介したお話の中でも、電車の利用について大変戸惑う方が多いのが印象的です。

次回は韓国での『お祝い事』についてお届けします。



## Vol.2 韓国のお祝いごと

前回に引き続き、河(ハ)さんにお話を伺います。  
今回のテーマは「韓国のお祝い事」です。



まず、韓国のお誕生日について教えてください。お誕生日はどのように過ごされますか？

幼い頃は自宅でお祝いをしてもらっていましたが、今はレストランや居酒屋で食事をする事が多いですね。メニューは焼肉が多かったです。

ケーキの定番はやはり生クリームを使っているもので、いちごやみかんが乗せてありました。これは今でも好きですね。

また、韓国も日本と同じように結婚するまで親と一緒に暮らす人が多いので、結婚するまでは家族とお誕生日を祝うというのが主流です。

プレゼントはどんなものを用意するのですか？

男性へなら本人が欲しがっている物をあげますが、女性へは欲しがっている物プラス花束をあげたりしますよ。

私は本とかCDをもらうことが多かったかな。



仕事とお祝い事、どちらを優先させますか？

もちろん仕事を優先しますが、皆帰りが遅くなっても必ずお祝いはしていると思います。

日本では20歳を迎えると成人式のお祝いをしますが、このような特別なお祝いはありますか？

韓国では日本のような特別な儀式はないのですが、二十歳の誕生日になると好きな人から赤いバラ20輪と香水とキスをもらいます。親からは腕時計などをもらいますね。

それでは大人になったと感じるのはどんな時ですか？

韓国では満18歳から36歳の間の2年間、軍隊への入隊が義務付けられているんですが、その軍隊を除隊した時、大人になったなと感じました。

父から「これから1人の大人として、人に頼らずに自分で責任を持って生きなさい。」と言われて、そこからもっと自分のことについて考えるようになってこれが大人の重さなんだと感じましたね。



次に韓国の結婚式について教えてください。式はどのように行われますか？

教会で結婚式を挙げる人もいますが、西洋式の式場で挙げる事が一番多いですね。

友達や親戚など100人くらい招いて、パーティーのように賑やかな雰囲気で行われます。

韓国ならではの風習はありますか？

式ではウェディングドレスを着るのですが、その他に伝統的な「ハンボク」と呼ばれている宮中礼服を着て記念撮影をしたりします。

このハンボクという衣装は、子供が1歳になったお祝いのときにも着せるんですよ。

それともうひとつ、式が終わった後に親と新郎新婦だけで行う伝統的な行事があります。

新郎新婦から両親へ挨拶をし、両親からどうやってお互いを信頼しながら生きていくべきかといった話を聞きます。



西洋文化と自国の伝統が入り混じった誕生日や結婚式は、日本のそれらと共通している部分がたくさんあるような気がしました。

しかし、日本にはない兵役を経て、精神的に大人へと変化を遂げる韓国の男性は頼もしく感じられます。女性にはどんなきっかけがあるのかも気になりますね。

次回はイタリアからのお話をお届けします！楽しみに！！